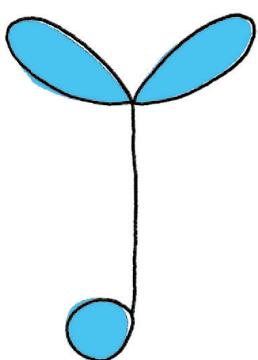
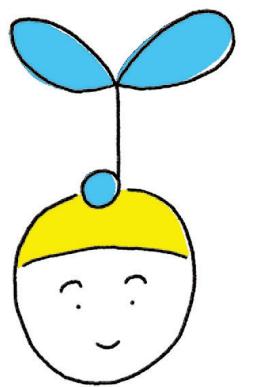


はじめまして、ヤマハミュージックスクールのこと

ヤマハ

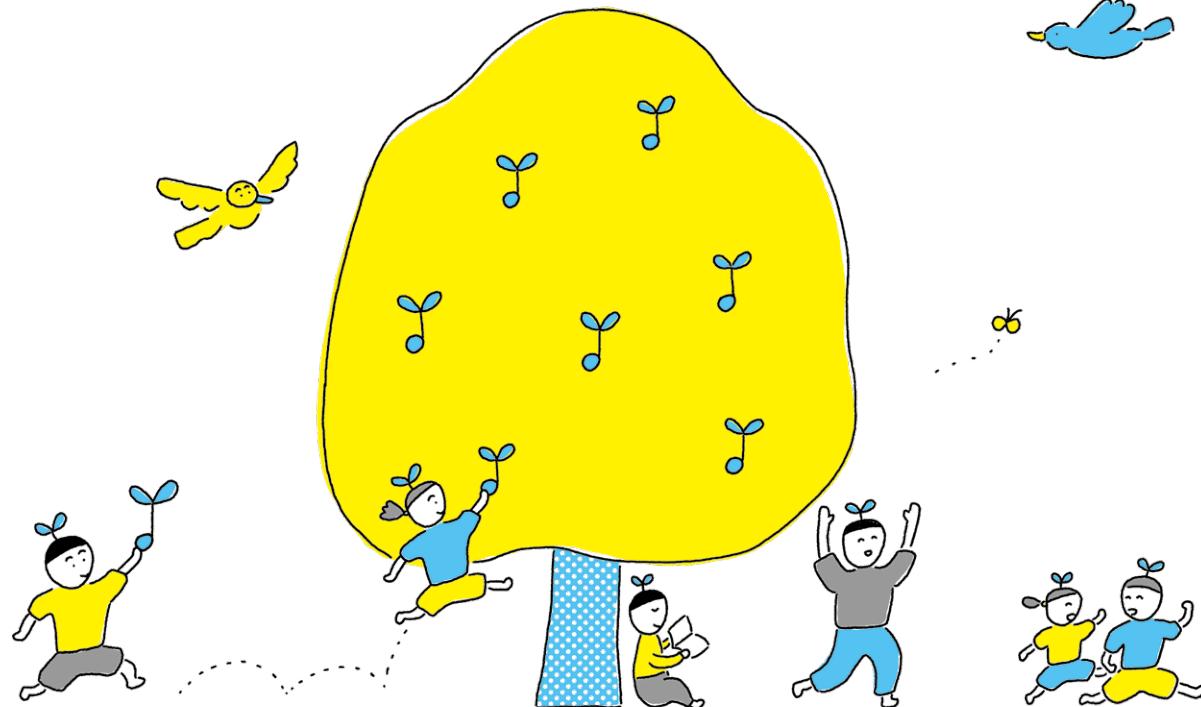
の



イ ロ ハ

B O O K

わたしが弾む場所。



わたしが弾む場所。

ヤマハのどんなところが好き？

教室に通う生徒さんにそう聞いたら、
こんな答えが返ってきました。

楽器を奏でることや、

楽譜を読めることだけが

音楽の力ではありません。

ヤマハが大切にしているのは、

言葉を覚えるように、音楽に親しむこと。

幼児期に「きく」力を磨くことで、

音を楽しめて、音を感じとることができて、
音楽を自分の音で表現できるようになります。

楽しくレッスンに通っていたら、

いつの間にかレベルアップしている。

音楽を習いに行っているようでいて、

気づいたら教室が

もう一つの「帰る場所」になっている。

これが、ヤマハで育つ子どもたちの姿です。

音楽とともに弾んで生きていく。

いまが、そのスタートラインです。

これからを創る、 これまでの70年。



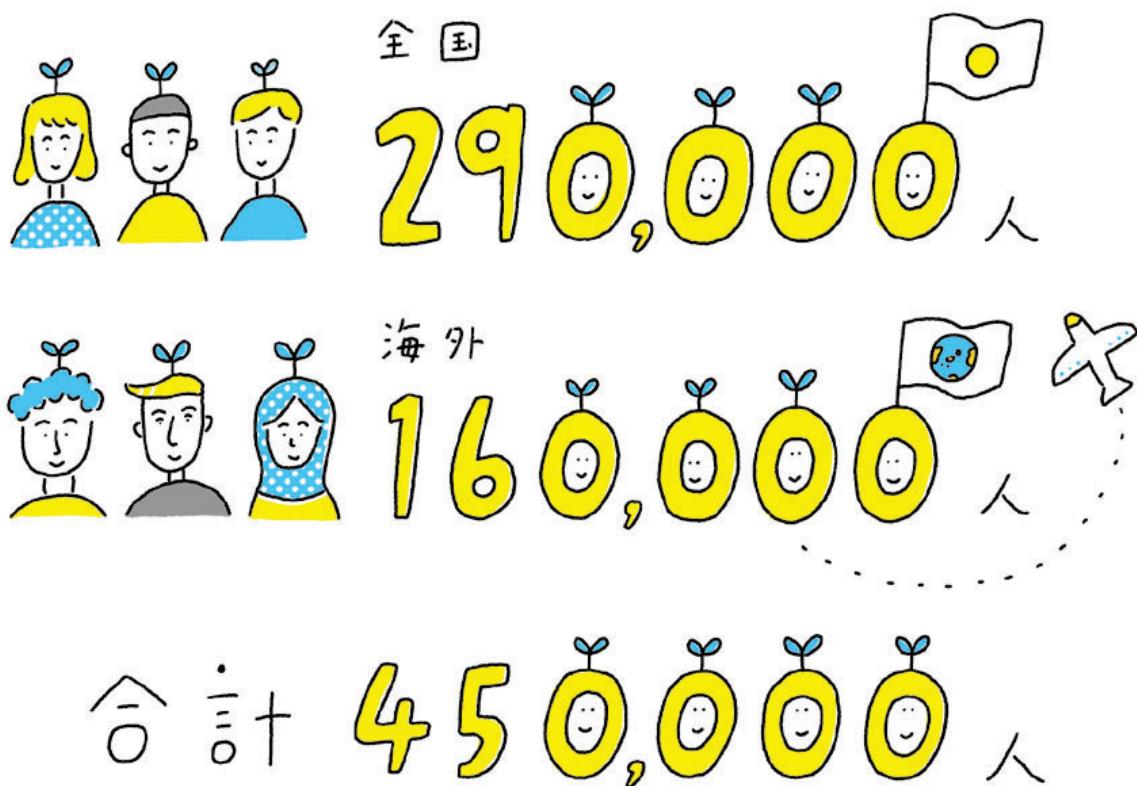
YAMAHA
MUSIC SCHOOL

ヤマハには70年以上の
歴史があります

1954年、銀座で前身となる教室がスタート。
その後、全国各地にひろがり、1959年に
「ヤマハ音楽教室」に。2024年5月から
「YAMAHA MUSIC SCHOOL」として
歴史を築いています。



音楽を好きな人が ひとりでも 増えてほしいから。



全国に約29万人、
海外に約16万人の生徒がいます

音楽を愛する人をひとりでも増やしたい。
その想いから、ヤマハは日本だけではなく
世界にも活動の場を広げてきました。
いまでは、世界で約45万人*の仲間が
一緒に音楽を楽しんでいます。

*2024年6月現在



いつでもヤマハは そばにある。



ヤマハの会場は、
全国に約2,200箇所

全国に約2,200会場、海外には
約1,150会場があります*。教室が選びやすい
だけでなく、もしライフステージが変化したり
お引っ越しがあったりしても、
教室に通い続ける機会がたくさんあります。

*2024年6月現在



となりのあの人、 先生かもしれません。



全国の講師数、およそ9,400人*

たくさんの講師は、
全員が音楽のスペシャリスト。
もちろん講師になってからも
講習会や勉強会で指導力の
スキルアップの努力を惜しません。

*2024年6月現在



すべてはまず「きく」 ことから始まります。

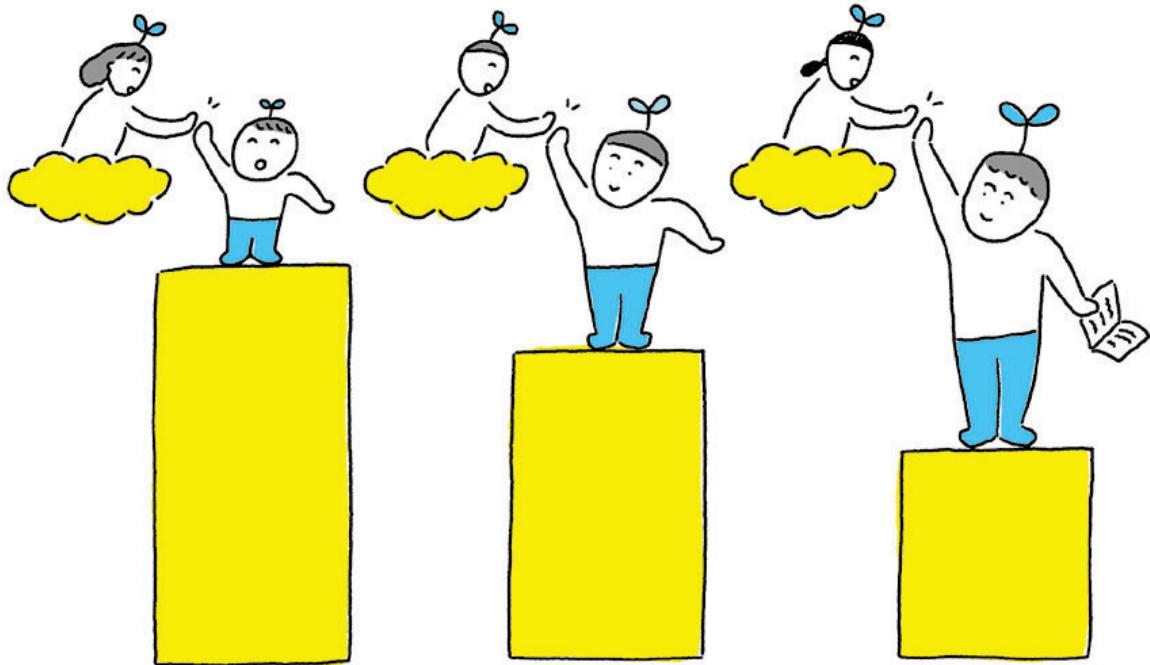


耳からスタートする、 ヤマハの総合音楽教育

「きく」力を磨いていくことから始まり、「うたう」「ひく」「よむ」「つくる」など、いろいろな角度から音楽を学びます。音楽を“感じるこころ”や、“イメージする力”も育む、それがヤマハの総合音楽教育です。



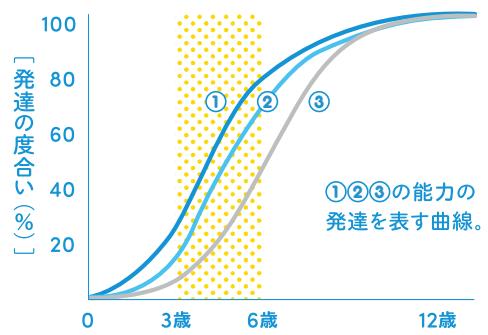
子どもの発達に 合わせた レッスンがあります。



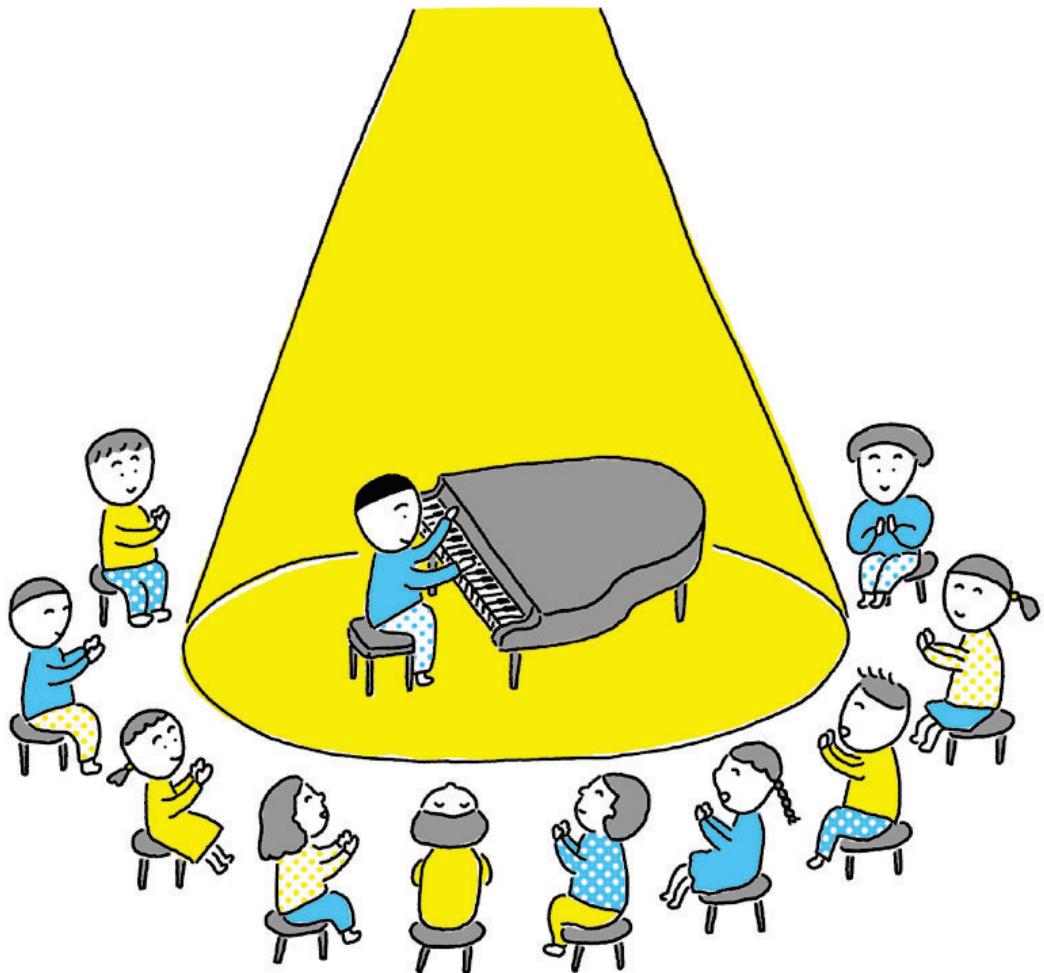
ヤマハのイロハ ⑥

子どもの発達に応じた 適期教育を大切に

ヤマハは子どもの発達に応じた教育を
大切にし、①音楽を聞き分ける力（音感）
②手指の器用さ③楽譜を読む力が、
もっとも発達する時期にそれを
伸ばすことを中心にレッスンします。



人前で弾く。 大きな経験です。

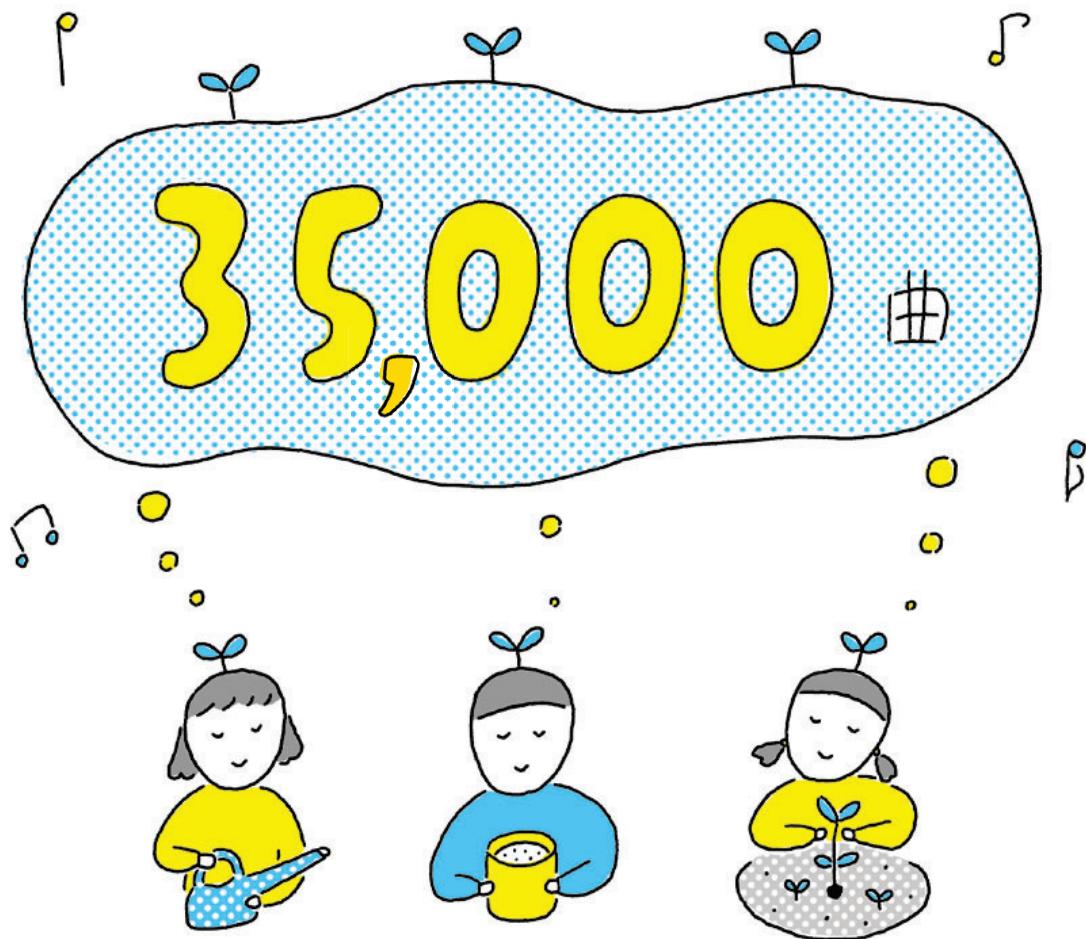


発表する機会を積み重ねることで、
堂々と表現できるようになります

ヤマハが大切にしているグループレッスンでは、
クラスコンサートなど人前で弾く
機会がたくさんあるため、自然と自分を
表現する力が身につきます。
もちろん、大きなコンサートもあります。



演奏もできる。 作曲もできる。

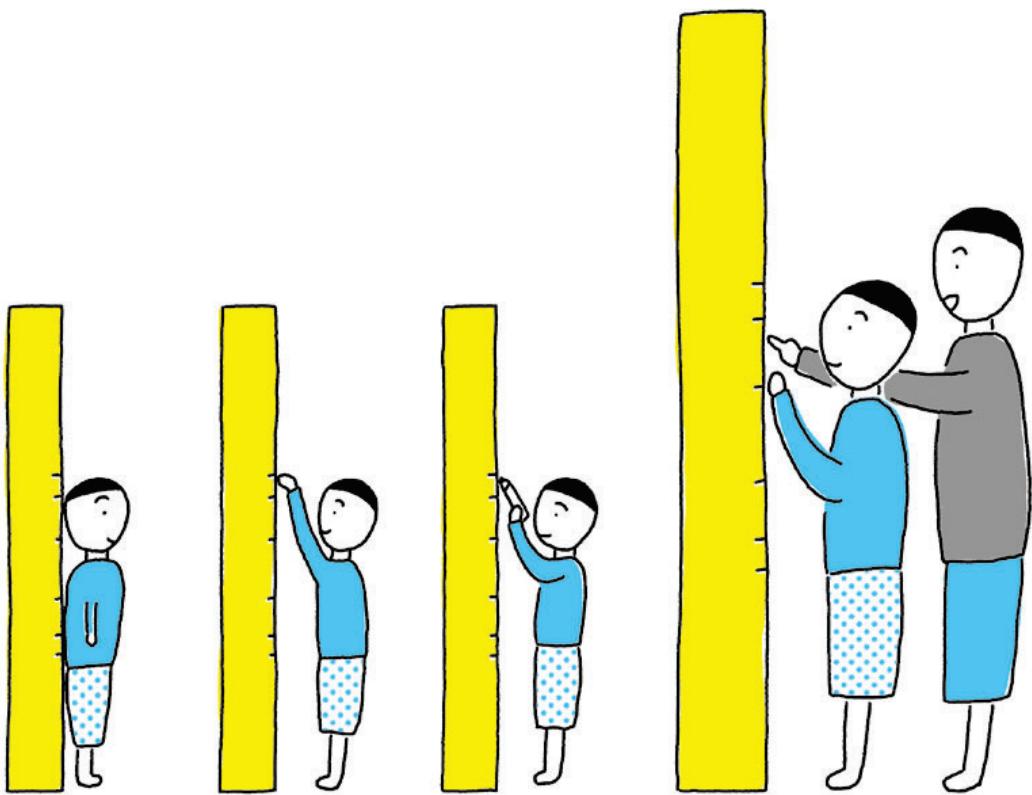


ここに感じたことを
音にできるようになります

15歳以下の子どもたちが自分で作った曲を
自分で演奏するジュニアオリジナル
コンサート (JOC) では、世界中の教室から
年間3万5千曲を超えるオリジナル曲が
子どもたちにより生まれています。



「見える」成長も 大切にしています。

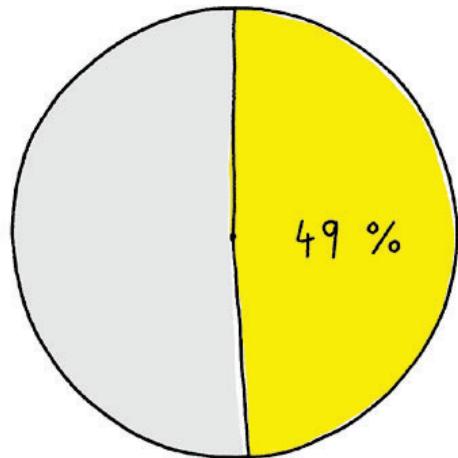


グレードで、身についた
音楽の力を「見える化」

ヤマハには、ヤマハ音楽能力検定制度
(ヤマハグレード) があります。
音楽基礎グレードからスタートし、
10~6級(学習者グレード)で日々積み重ねた
学習の成果を実感できます。



親子三世代で通った 方々もいます。



親子でヤマハっ子も、実に5割です

「自身が楽しかったから」
「通っていた体験からどんないいことを
学べるのかがわかる」という理由から、
親子で通っていた率は実に49%*。
三世代で通っていた家族もいるんです。

*2023年度入会アンケートより



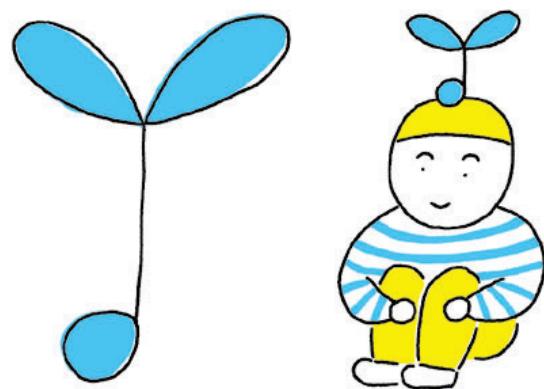
音楽が、たのしい。



子どもたちの“楽しい”を 追求するカリキュラム

ヤマハのレッスンは、子ども一人ひとりが
“楽しい”と感じられるかどうかを追求しているカリキュラム。
先生がそれぞれの個性に合わせて伸ばしてくれる、
仲間とともに楽しく音楽を学べるから、
いつの間にか子どもが音楽を好きになります。

みんなの
「わたしが弾む場所。」
であります。



各コース のご案内。

入会コース

進級先コース



ドレミランド

対象

満1・2・3歳
(年少未満)
グループ

概要

1歳から始められる、親子で一緒に楽しむ音楽レッスンです。1~3歳児の発達特性に合わせて、わくわくするような楽しい音楽経験を重ねながら、感性や情緒、自発性を育てます。



ぷらいまりー

年少～年長
グループ+個人

イメージを広げて音楽やピアノやエレクトーンとふれあうことからスタートして、音楽の基礎となる力や自由に表現できる力を身につけます。グループレッスンに個人レッスンを組み合わせて力を育む、ヤマハならではのコースです。



ぷらいまりー
パーソナル

年少～年長
個人

ピアノまたはエレクトーンの個人レッスン。イメージを広げて音楽やピアノやエレクトーンとふれあうという考え方そのままに、音楽の基礎となる力や自由に表現できる力を個々の進度に合わせて身につけます。



プレジュニア

小学1～3年生
グループ+個人

小学生からピアノやエレクトーンを始められるコース。グループレッスンに個人レッスンを組み合わせて音楽の基礎となる力を着実に身につけます。



プレジュニア
パーソナル

小学1～3年生
個人

小学生のためのピアノまたはエレクトーンの個人レッスン。音楽の基礎となる力を個々の進度に合わせて身につけます。



ジュニア

対象

小学1～6年生
グループ+個人



ジュニア
パーソナル

小学1～6年生
個人



ジュニア
専門コース

小学1～6年生
グループ+個人



上級ゼミ

小学1～6年生
個人



専門コース
上級

中学1年生～
グループ/個人

ソルフェージュ、アレンジ、レパートリー、アンサンブルなどの経験を通して、鍵盤演奏力と創造的な音楽表現力を着実に育みます。グループレッスンに個人レッスンを組み合わせて、総合音楽力をさらに伸ばします。

ピアノまたはエレクトーンの個人レッスン。ジャンルの垣根を越えた幅広いレパートリーを学習しながら、確かな演奏力とともに、アレンジする力を育みます。

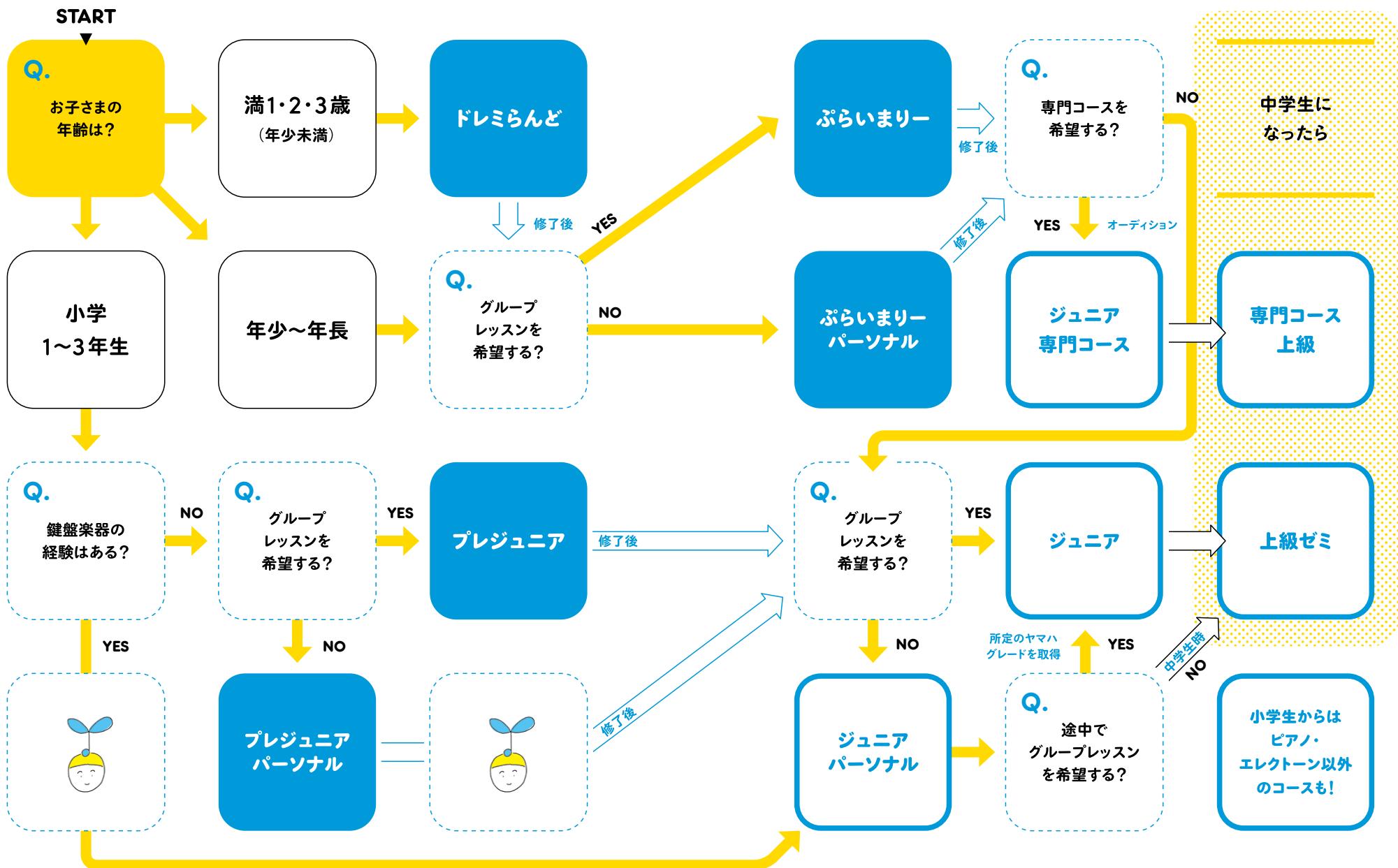
より専門的で高度な音楽教育を受けたい方のためのコース。グループレッスンと個人レッスンの併用で、豊かな演奏表現力と自ら創る喜びを育み、ハイレベルな音楽力を身につけます。進級のためのオーディションがあります。

音楽を長く続けたい方に最適な、高校生まで在籍できるコース。志向性に合わせ、レッスン形態や回数が選べます。楽典や音楽の仕組みを学習できる教材も使い、ヤマハで培った力を基に能動的に音楽を楽しみます。

専門的に音楽を学びたい方のための、高校生まで在籍できるコース。「自ら創り演奏し、それを感動ある表現にまで高めていく」ことをを目指します。専門性や志向性に合わせ、レッスン形態や回数が選べます。

ヤマハ スタートアップガイド

「まだ早い」 も「もう遅い」もありません。



ぜんぶオリジナル、ヤマハの教材。

ジュニア1、ジュニアパーソナルStep1で使用するテキスト
「New ジュニアソルフェージュ&アレンジ①-1」

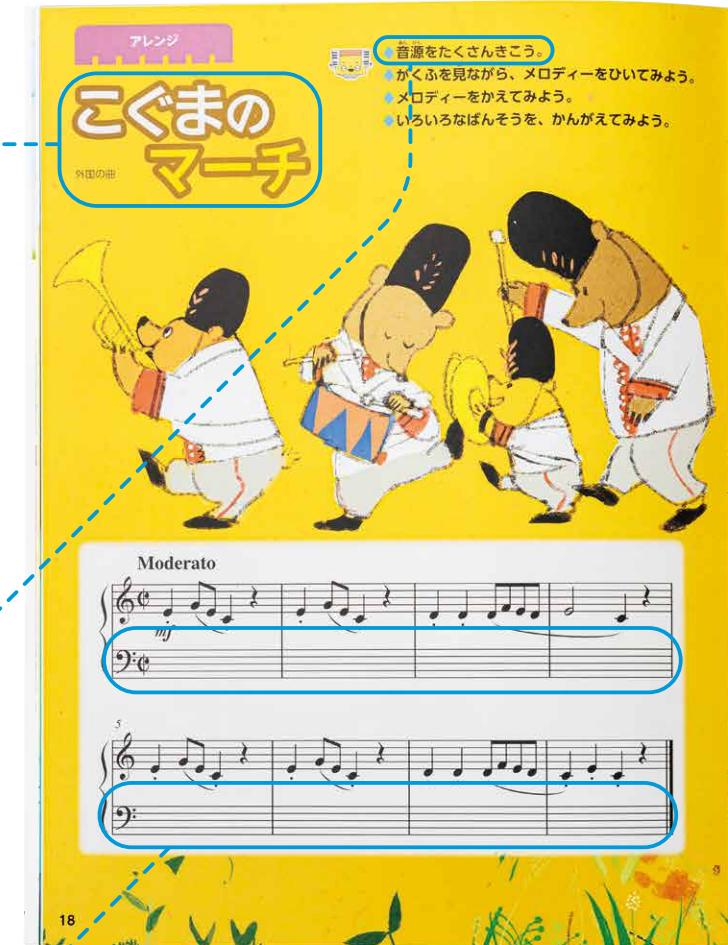
1. 楽しくアレンジ できる曲

すでに弾いたことのある曲を題材にしているので、アレンジすることに集中できます。

2. いつでも きける・見られる

質の高い音源・動画を専用サイトからいつでも視聴できます。

3. 自分で 創造するための 楽譜の空白



左手の部分が空白になっているのは、右手のメロディーにどんな和音が合うのか、それまで積み重ねてきた力をを使って自分で創造できるため。ただ楽譜を見て弾くのとは違うかたちでアウトプットできます。

4. イメージしたもの を音で表現する ための具体的な アイデアがたくさん

教材に具体的なアイデアが書かれているので、無理なく楽しくアレンジできるようになります。アレンジの基本を無理なく習得することで、創造性が育れます。



70年で培った、 ヤマハメソッドとは

ヤマハはカリキュラムから指導法、教材までオリジナルです。長年の研究や経験を通して培ったすべてがメソッドに生かされ、これまで550万人以上が受講しました。教材は時代やメディアの変化に合わせて進化しています。一方、70年の間、初版からテキストに掲載され、受け継がれている曲も多くあります。

“おけいこ”ではなく、音で遊んでいました



上原ひろみさん
〔ピアニスト〕

6歳からヤマハに通い始め、毎週1曲ずつ作曲していました。“おけいこ”をしている感覚は全然なくて、音で遊んでいる感じでした。どの先生も情熱的な方ばかりで、ただただ楽しかったです。ピアノを弾くことは手を通じて心を表すこと、音楽は心を表現する手段ということを、ごく自然に教えてもらいました。

ヤマハに通う、通った みんなの声。

自分で作った曲を きいてもらえる喜び

水口ひなさん
〔ヤマハミュージックスクール講師〕



2歳から大学卒業までヤマハに通っていました。ジュニアオリジナルコンサートで、自分の作った曲を大きな会場でたくさんのお客さんにきいていただけで、本当にうれしかったのを覚えています。講師になってからは、一人ひとりの個性を大切にしながら生徒の声に耳を傾けて、一緒に音楽を楽しくイメージして作り上げることを心がけています。



母も小学生の時に、私（理恵さん）も幼児から小学6年生までヤマハに通っていました。私がとにかくヤマハが楽しかったので、娘たちも通わせたいと思いました。娘たちは母と弾くのが大好きで、夏休みや冬休みなどに姉妹だけで祖母の家に泊まりに行ったり、自宅練習と一緒にやっているそうです。発表会などのイベントはいつも三世代で楽しんでいます。

私の母と練習をするのが 大好きになりました

川端理恵さん
咲良さん・唯良さん
〔母・小学1年生・4歳／東京都〕
岩月弥生さん
〔祖母／愛知県〕

上原ひろみさん
〔ピアニスト〕

「音楽を蓄えている」の 言葉で続けられました



1歳から「らっきークラス」に通いましたが、母いわく「何もしていなかった」と。でも先生からは「足はずっとリズムを取っていて、音楽を蓄えているから大丈夫ですよ」と言われていたそうです。中高でサッカーなどの部活や行事で忙しくなっても続けられたのは、先生がいつも自分を肯定してくれて、応援してくれたからだと思います。

三宅翔大さん〔高校1年生／東京都〕

歌うことの大好きに させてくれました

横山だいすけさん
〔歌手・俳優〕



夫は4歳から、私は1歳からヤマハに通っていました。3歳から通っている息子は、最初は人前で歌うのも難しかったですが、お友だちと音楽を楽しむうちに、ピアノを上手に弾けるようになりたいと努力をするようになり、いまでは親が促さなくても子ども自身が目標を見いだすなど自主性も備わってきました。

子どもが自分自身で 目標を見いだせるように

上野俊貴さん・郁里さん・葵巳さん
〔父・母・4歳／栃木県〕



与羽亜衣さん・さくらさん
〔母・小学2年生／北海道〕

娘も私も同じ4歳からヤマハに通っています。いろいろな曲を耳コピしてすぐに弾くことができるようになったことが、私にとって宝物です。最近は娘も、流れてきた曲や街中できこえてくる音を、「いま、ソード♪ってきこえる！」などと言うようになり、ヤマハに通わせてよかった！と心から思っています。

きこえてくる音が ドレミでわかります



体験のお申し込み、
お近くの教室探しは、
いきますぐ下記から♪



ヤマハミュージックスクール 検索



YAMAHA
MUSIC SCHOOL

ヤマハ音楽教室

ヤマハ音楽振興会

-ZKS588

2024年12月発行